

改革・改善サイクルに係る対応方針

健康部

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
健康総務課	保健・医療	健康医療都市ひらかた推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に比べ、事業内容が内向きで事業効果に疑問。 ・目標は、事業目的に対して妥当か。事業の効果は不明である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する14団体が保有する知識やノウハウ等の共同利用や情報の共有、人材の交流を図り、連携事業を進めることで地域医療の充実や市民の健康増進に寄与する。また、連携事業などの情報を様々なツールを用いて発信し、健康医療都市ブランドを構築する。 ・目標については、事業効果が直接反映されにくいものであるため、新たな目標設定について検討する。 		
健康総務課	保健・医療	災害医療対策関係事務	一次点検内容について、特に異論なし。	拡充・重点化	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度までは、関西医科大学附属枚方病院主体の訓練に参画・協力する形で実施してきたが、今後、災害医療対策会議が主体となり、市立ひらかた病院を含めた基幹病院や医師会と連携した災害医療訓練を実施する。 		
健康総務課	保健・医療	食育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農政との連携を深め効果的に。 ・貴市としての「食育の推進」のオリジナリティ、実施内容の具体的な検証の必要性あり。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年3月に策定した「第2次枚方市食育推進計画」に基づき、農業者をはじめ食に関連する団体との連携をより一層強化するとともに、ネットワークによる食育の推進に取り組む。 ・第2次計画の推進にあたっては、「枚方市食育推進計画審議会」にて、食育推進計画の進捗状況の確認や評価を行い、その中で”ごんぼ汁”など伝統食の継承を含め実施内容の検証等を行っていく。なお、平成27年度においては、中間評価を実施する。 		

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
国民健康保険室	補助金事業	人間ドック費用助成事業	<ul style="list-style-type: none"> 受診率向上に向け簡易人間ドックなどの検討。 本事業は市民の「疾病予防対策」として大変に重要で、本事業の取り組みの充実が結果的に医療費節減にもつながることを念頭により一層の市民への周知と受診率向上に取り組む必要あり。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 対象者全員へ特定健診受診券送付時に制度説明のチラシを同封し周知を図る。広報ひらかたへの掲載、FMひらかたでの放送、公共施設や医療機関でのポスター掲示など多様な方法で周知・啓発に努め、被保険者および市民の健康維持促進に対する意識の向上を図る。 また、人間ドックと特定健康診査を併用受診できる病院を平成26年度に1ヶ所加え14ヶ所として受診しやすい環境を整えていく。 		
国民健康保険室	保健・医療	特定健康診査・特定保健指導事業	<ul style="list-style-type: none"> 目標は、事業目的に対して妥当か。事業の効果が不明である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 第2期枚方市国民健康保険特定健康診査等実施計画において、平成25年度の受診率の目標を35%としており、実際の受診率は30.8%であった。平成23年度28.5%、平成24年度30.1%で僅かずつであるが上昇している。今後も電話による受診勧奨を中心とした未受診者に対する受診勧奨と休日健診や地域での集団健診、人間ドックとの併用受診、大腸がん検診同時受診の拡充などにより、受診しやすい環境整備にも努めていく。 糖尿病等の生活習慣病は、早期の状態と重症化した後の治療では、医療費に数倍から数十倍の違いがあることから、具体的なデータ等も用いて特定健診の受診が国保の財政安定化と、被保険者の経済的負担の軽減及びQOLの向上に繋がることを啓発していく。 		

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
国民健康保険室	保健・医療	保健事業	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は、事業目的に対して妥当か。事業の効果が不明である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度では骨密度測定には137名、骨粗しょう症予防教室1回目67名、2回目68名の参加があった。平成26年度実施の健診受診促進・生活習慣病予防啓発のポスターコンクールには186作品の応募、展示には約2400人の来場があり、啓発事業としての効果が得られた。 ・平成25年度から65歳と70歳の被保険者へ大腸がん検診無料クーポン券を特定健診受診券とともに配布して同時受診を促進している。 ・さらに、医療費の適正化のため、特に海外療養費の点検強化、柔道整復等施術の点検方式の見直しなどを行い、給付の適正化を一層促進する。また、引き続きジェネリック医薬品の差額通知、医療費通知を実施していく。 		
保健センター	保健・医療	健康づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりボランティアの活動実態の把握が必要では。 ・3つのエントリー実績減の回復方策。 ・目標は、事業目的に対して妥当か。事業の効果が不明である。 ・他事業との関係はどうなっているのか。 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりボランティアの活動実態については、保健センターと関連のある部分については把握しているが、健康づくり食生活改善協議会については、独自活動の部分があるため、その内容を含め活動実態を把握していく。 ・第2次枚方市健康増進計画を受け、3つのエントリーに変わるツールを検討中である。 ・事業効果が直接反映される目標を検討する。 ・他事業との関係では、基づく法律が違うため、運営上の統合・連携によって効率的に進めるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりボランティアとの協働により、効果的な第2次枚方市健康増進計画の推進を図る。 ・事業効果を測定できる目標として、「主観的健康感の向上」を設定する。 	

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
保健センター	保健・医療	成人歯科保健事業	・成人歯科保健推進事業対象者の公平性について	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕と歯周病は、有病率が高く歯を喪失する直接的な原因になっているだけでなく、生活習慣病・低体重児出産等の全身疾患との関連も指摘されている現状であるにもかかわらず、子育て中の世代は、出産・育児と時間に追われ、歯科受診が難しい状況である。また、子どものう蝕と歯周病の予防には、親の意識啓発が非常に重要である。このため、成人歯科保健事業は目標達成のために効果的な対象者に対して実施していると考えており、さらなる受診率の向上に向けて効果的な方策を検討する。 ・また、広く市民を対象とした歯周疾患検診については、積極的にPRし、受診率の向上をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人歯科保健推進事業を実施している乳幼児健康診査の受診率を向上 ・歯周疾患検診をPRし、受診率の向上 	
保健センター	保健・医療	成人保健事業(がん対策事業除く)	・目標は、事業目的に対して妥当か。事業の効果が不明である。	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の目標が「70歳未満の死亡割合の減少」となっているが、指摘があったように事業効果が直接反映されにくいものであるとも考えられる。そのため、より事業効果が測定しやすい目標設定について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果を測定できる目標として、「主観的健康感の向上」を設定する。 	
保健センター	保健・医療	特定保健指導事業	<ul style="list-style-type: none"> ・所管課の回答のとおり、認知度や利用率の低さの要因から実績値が低いことは明らかで、事業内容・実施手法の再検討が望まれる。 ・目標は、事業目的に対して妥当か。事業の効果が不明である。 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険室と連携し、実施率向上に向けた取り組みを進める。 ・目標値については、「第2期枚方市国民健康保険特定健康審査等実施計画」との整合性を図る必要があるため、国民健康保険室と協議を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実効性のある方策の検討 ・事業効果を測定できる目標として、「特定保健指導の実施等の向上」を設定する。 	